

9. 地域特性を活かした交通施設の整備（沖縄県与那城町）

～ポイント～

景観を楽しむことを考慮した交通施設の整備

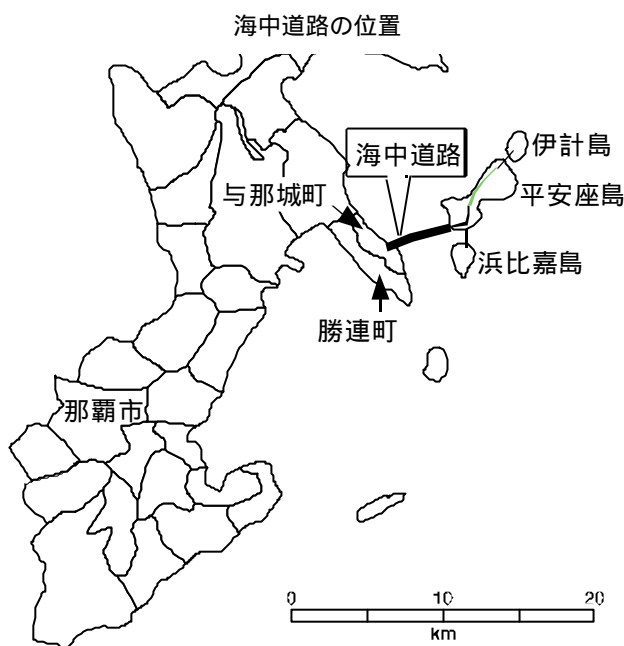
海中道路の拡幅に際して、海中道路からの景観を楽しむことができるよう駐車場を整備したほか、観光拠点施設を整備し、祭りやイベントの開催に活用している。また、眺望を活用したロケやCM撮影なども行われ、知名度向上に寄与している。

1) 海中道路の概要

海中道路は、与那城町の沖縄本島側と、離島の平安座島を結ぶ道路であり、1971(昭和46)年、離島振興のため、平安座島に誘致された企業が建設し、町に移管し、その後県に移管された。

平安座島の先につらなる伊計島のビーチは、県外からの来訪者のほか県民にも人気のある海水浴場である。

本島と平安座島を結ぶ海中道路の拡幅は終了したが、最終的には、本島から平安座島の先にある伊計島まで、道路を整備する予定である。



黒線は改良済み道路、グレーは改良予定

2) 交通施策の概要

海中道路の拡幅

1991(平成3)年から改良工事を実施し、道路を拡幅した。

海中道路からの景観の 観光資源化

海中道路から見る海の景色がすばらしく、海中道路の拡幅以前から映画のロケやCM撮影に利用されていた。そこで、拡幅にあたっては、車を止めて景色を楽しむこ

ロードパークからの眺望



とができるようにロードパークを整備した。さらに、観光拠点施設として、観光情報や地域の物産を販売する施設の整備を進めており、来年の春、海開きに合わせて開業する予定となっている。

3) 観光施策の概要

海中道路内のロードパークを活用したイベントの開催

ロードパークの整備効果を観光に結びつけるために、祭りを開催したり、海を使ったイベントを実施するなど、誘客施策を実施している。

ロードレース

* 海中道路の拡幅完了にあわせて、2000(平成12)年よりあやはしロードレースを開催している。初年度は4,000人、2年目の平成14年は5,000人の応募があった。平成15年は4月6日に開催予定である。

あやはし祭り

* 地域の祭りが年々寂れつつあったため、2000(平成12)年からロードパーク等を利用して、「あやはし祭り」を実施している。

2001(平成13)年には、延べ1万6千人が訪れる祭りとなっている。

その他

* 海上に仮設ステージを設置し、ロードパークから見て楽しむイベントも開催予定など、ロードパークを活用したイベントによる観光振興を図る計画である。



出所) 与那城町観光マップ

あやはし祭り



出所) 与那城町『あやはしまつりinよなしろ』

< 施策の経緯 >

伊計島ビーチは、沖縄県では珍しい干潮時も泳げる浜であるため、地元民にも人気があり、観光シーズンは交通渋滞が発生し、そのため、海中道路の拡幅改良工事が実施された。

< 推進体制 >

海中道路の整備は、県の道路改良事業、橋を使ったイベント等の実施は与那城町の事業である。

4) 交通と観光の相関性

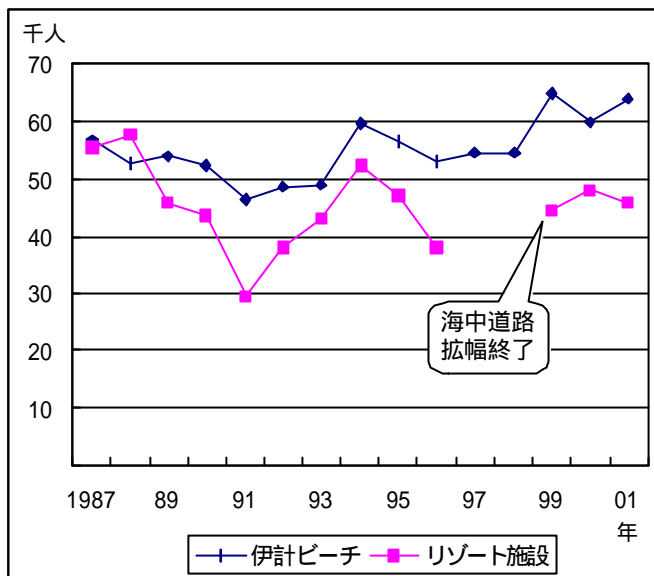
伊計島の観光客数増加

伊計島の観光客は日帰り客も宿泊客も増加した。日帰り客は那覇などからの県民が中心であり、海中道路拡幅により、渋滞が解消し利便性が高まったためと考えられる。宿泊客はほとんどが県外客である。

マリレジャーの増加

海中道路の手前側にマリショップが数軒、立地しており、拡幅後、パラサーフィンなどのマリスポーツを楽しむ人が増加している。

伊計島の観光入り込み客数の推移



出所) 与那城町提供資料より作成

撮影の増加

海中道路の拡幅終了後、CMなどの撮影が増加した。最近では平成14年6月に公開された映画「模倣犯」の撮影に使われている。町としては、協力要請があった場合は、できる限り協力しているということであるが、独自に撮影をしていることもあるそうである。

5) 今後の方向性と課題

沖縄本島の観光開発は西側を中心に行われているが、東側にも豊富な観光資源があると考えている。

とはいえ、海中道路の手前にあたる与那城町では、観光を産業につなげていきたい。物産館においても、販売する物産については今後、開発を検討するという段階であり、今後、観光の産業化に取り組む必要がある。

数件のリゾートホテルがある以外は、宿泊施設がなく、ロケやイベント、祭りで来訪者があっても宿泊は島の西側という状況であり、町としては、訪れ、宿泊して楽しんでもらえるようになる必要があると考えている。

担当	沖縄県与那城町企画調整課	連絡先	098-978-4300(電話)
----	--------------	-----	------------------